

毎日、安全で美味しい水をお届けします！

すいげん

NO.35

厚岸町水道広報

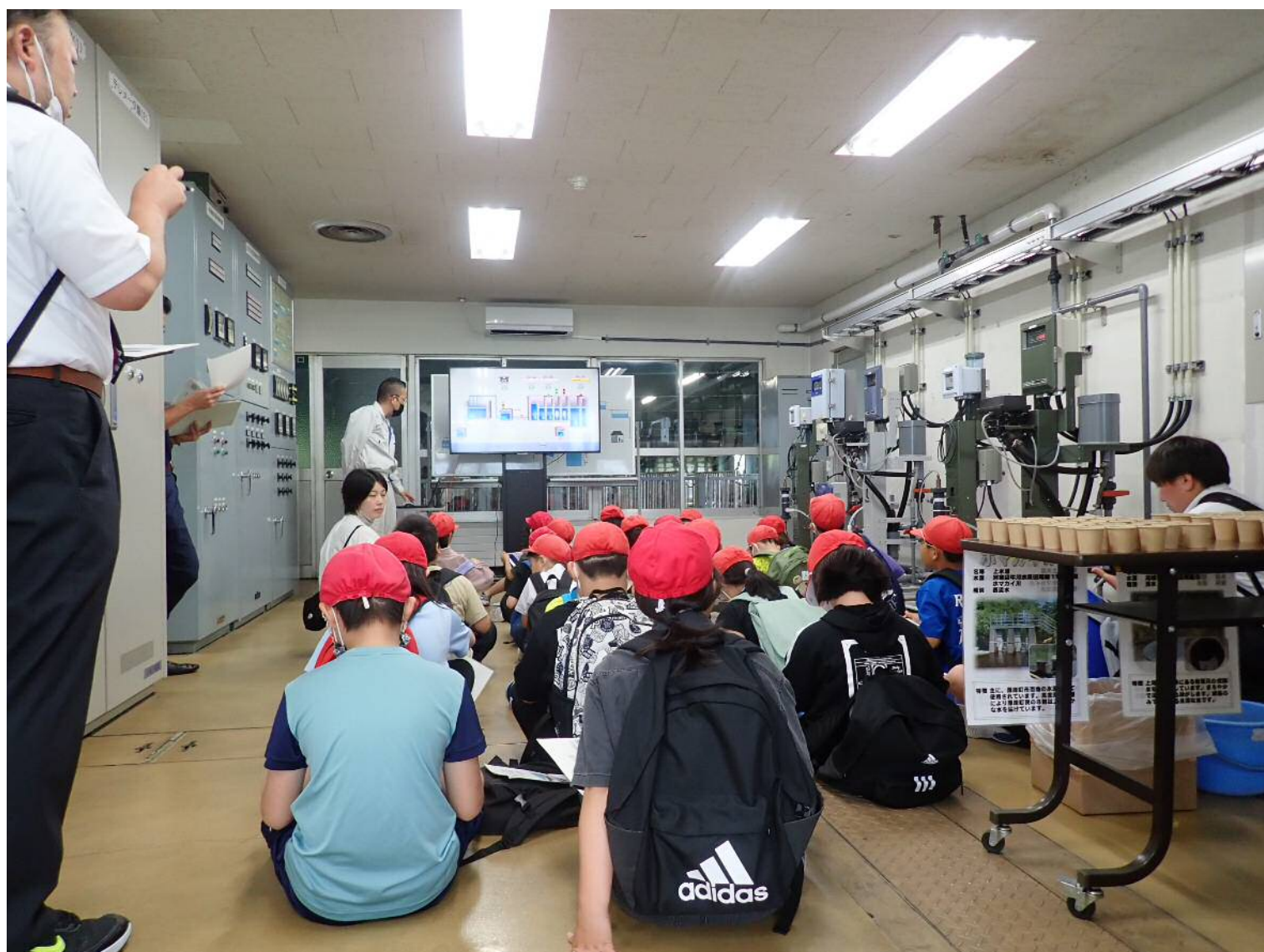
2024

夏

特 集

令和6年度水道事業 予算と事業計画

- 厚岸町の指定する工事事業者一覧
- いざというときに備えて飲料水を備蓄しましょう



厚岸浄水場で社会科見学をする真龍小学校の児童たち。

人口減少に伴う水需要の減に加え、 年々厳しさが増す経営維持

令和6年度の水道事業会計予算は3月に開かれた町議会第1回定例会で可決されました。

収益的収支の予算額は収入が3億3,083万1千円で、前年度に比べ2,143万円の増、支出は2億8,698万6千円で、前年度に比べ1,777万9千円の増となり、予想される利益は2,551万6千円となっています。

予算の概要

◆企業会計のしくみ

水道事業は地方公営企業法が適用され、必要な経費は水道料金で賄う独立採算制が原則です。

予算は料金収入や営業経費などの経常活動に関する「収益的収支」と施設整備などの投下資本に関する「資本的収支」の2本立てとなっています。

水道事業予算とは上水道事業予算のことです。

【収益的収支】

収益的収支の見込みは、収入総額が3億3,083万1千円で、前年度に比べ2,143万円(6.9%)の増となっています。水需要が低調傾向にあることから、収入の柱である給水収益が、前年度に比べ129万円(0.5%)の微減を見込んでいます。

また、収益的支出の総額が2億8,698万6千円で、前年度に比べ1,777万9千円(6.6%)の増となっています。主に、原水及び浄水費や減価償却費の増によるものです。

この結果、収支差額は4,384万5千円の黒字となる見込み(税抜の損益では、2,551万6千円の純利益)です(図1)。

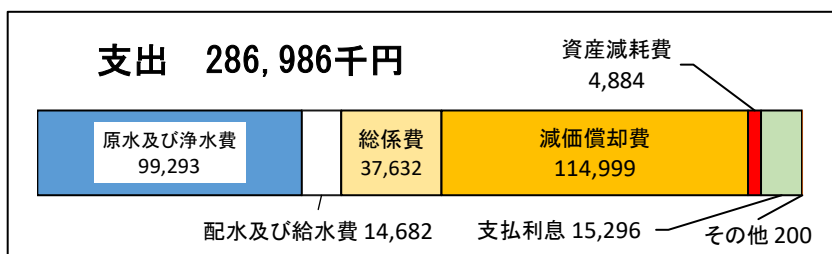
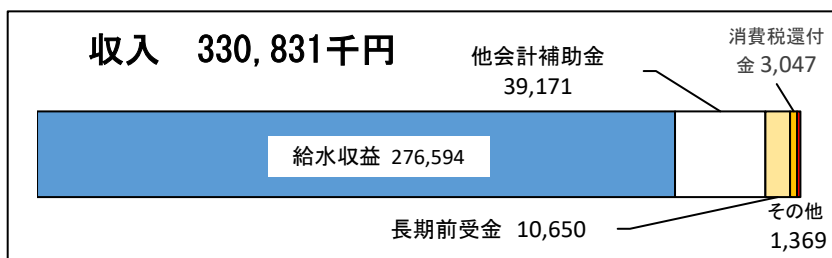
【資本的収支】

資本的収支は、収入総額が1億3,978万1千円で、前年度に比べ2,616万5千円(23.0%)の増となっています。主に、企業債が3,550万円(46.5%)増の1億1,190万円、国庫補助金が607万5千円(121.5%)増の1,107万5千円、道補助金が299万円の皆減、補償金が825万円の(100.1%)増の1,649万円、他会

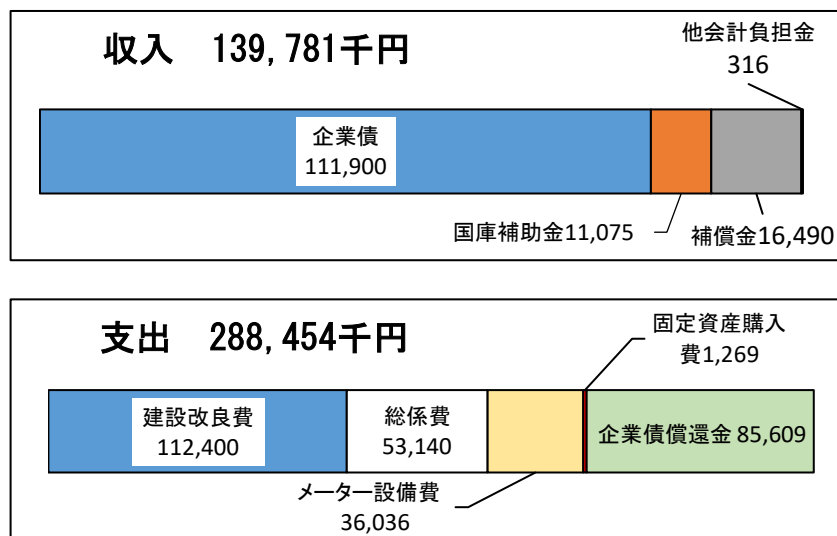
計負担金が2,067万円(▲98.5%)減の31万6千円となっています。

支出総額は2億8,845万4千円で、前年度に比べ3,287万4千円(12.9%)の増となっています。主に、建設改良費が4,294万円(61.8%)増の1億1,240万円、総係費が110万9千円(2.1%)増の5,314万円、メーター設備費が1,159万7千円(24.3%)減の3,603万6千円、固定資産購入費が71万9千円(130.7%)増の126万9千円となっています。

■図1 収益的収支
水道水を作り、家庭などにお届けするための経費と財源



■図2 資本的収支
水道施設を建設・改良するために必要な経費と財源



企業債償還金は29万7千円(0.3%)減の8,560万9千円です(図2)。

資本的収支の不足額1億4,867万3千円は、当年度分損益勘定留保資金1億923万3千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,593万4千円、建設改良積立金2,350万6千円で補填することとしています。

業務の予定量

業務の予定量は、前年度水量実績を基に、令和6年度の水需要の見通しを立てたものです。給水戸数は前年度に比べ24戸(0.5%)減の5,160戸で、年間

総配水量は6,897立方メートル(0.6%)減の115万1,076立方メートルで、一日平均給水量は19立方メートル(0.6%)減の3,154立方メートルの見込みです(表1)。

■表1 業務の予定量

区 分	単位	6年度	5年度	増減	率(%)
給 水 戸 数	戸	5,160	5,184	▲ 24	▲ 0.5
年 間 総 配 水 量	m ³	1,151,076	1,157,973	▲ 6,897	▲ 0.6
一 日 平 均 給 水 量	m ³	3,154	3,173	▲ 19	▲ 0.6

令和6年度の主な事業

●配水管布設替等事業

1億1,900万円(5,704万円)

宮園地区や床潭・末広地区の配水管布設替工事、尾幌地区の配水管整備工事などを予定しています。

●設備整備事業

1,340万円(▲1,410万円)

厚岸浄水場の薬品注入設備整備工事を予定しています。

●上水道地区地下水源調査委託業務等

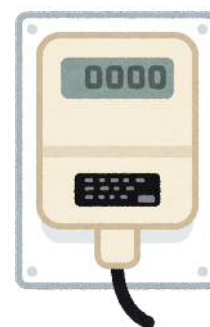
2,585万円(30万円)

地下水源の水質及び水量調査を予定しています。

●メーター設備事業

3,603万6千円(▲1,159万7千円)

水道メーター(量水器)の新設や有効期間が満了するメーターの交換を予定しています。新設、交換あわせて495台(▲41台)の予定です。



※()内は前年度当初比増減額で、▲は減。

【主な科目の説明】

◆収益的収支

科目	説明
給 水 収 益	水道料金
他 会 計 補 助 金	一般会計などからの補助金
原 水 及 び 浄 水 費	水を作る費用
配 水 及 び 給 水 費	水を各家庭等に配る費用
総 係 費	人件費や事務費など
減 価 償 却 費	水道施設等の資産価値の目減り分を費用計上したもの
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	借入金の利息の返済額

◆資本的収支

科目	説明
企 業 債	水道施設整備のための借入金
建 設 改 良 費	施設の建設・改良に係る費用
企 業 債 償 還 金	借入金の元金の返済額

2024 年 夏号 (通巻 71 号)
令和 6 年 8 月 1 日発行

■発行／厚岸町
■編集／水道課
〒088-1192
厚岸町真栄 3 丁目 1 番地
TEL 0153-52-3131
FAX 0153-52-4284
E-mail／
suidou@akkeshi-town.jp



●近年、水道管から漏水する頻度が高くなっています。ご自宅前の道路上や歩道で水が湧いているなど疑わしい状況を発見した際には、速やかに水道課へご連絡ください。

また、各家庭において水回りの不具合など修理依頼が必要の際には、右に厚岸町の指定する工事業者一覧を載せておりますので、お問い合わせください。

編集後記

▼ 4 月に建設課から異動となり、水道課業務係に配属になりました佐藤です。以前担当していた公営住宅の業務や道路関係の業務等とは全く異なることが多く、慣れない日々が続いております。一日でも早く水道事業に関する知識を身につけ、町民の皆様の日常生活を支えられるよう一生懸命取り組んでいきますので、よろしくお願いいたします。
(佐藤)

水道管の凍結や漏水、水洗トイレの工事やトラブルは指定工事店へ依頼してください。



このQRコードから以下一覧を掲載した厚岸町のホームページをご覧ください。

厚岸町指定給水装置工事業者 公共下水道排水設備等指定工事店

	指定工事業者名	事業所又は本社所在地等	電話番号	できる工事	
				水道	下水道
町内	有限会社浅野石油	厚岸町真栄1丁目130番地	0153-52-2764	○	
	有限会社 〆二岩井商店	厚岸町真栄3丁目67番地	0153-52-3622	○	
	オオタ設備	厚岸町門静1丁目342番地	0153-52-4887	○	○
	株式会社佐藤工業	厚岸町白浜1丁目172番地	0153-52-2406	○	○
	太平洋設備株式会社	厚岸町港町4丁目98番地	0153-52-3563	○	○
	たけだ工務店株式会社	厚岸町太田3の通り34番地11	0153-52-7600		○
	田崎土建株式会社	厚岸町門静2丁目8番地	0153-52-3422	○	○
	フルハウス	厚岸町有明 1 丁目68番地	0153-53-3611	○	○
	株式会社宮原組	厚岸町真栄2丁目256番地	0153-52-6654	○	○
町外	大倉工業株式会社	釧路市光陽町6番6号	0154-24-5176	○	○
	株式会社共立	釧路市松浦町11番3号	0154-22-0808	○	○
	協和建設工業株式会社	別海町別海旭町131番	0153-75-2240	○	
	釧路永伸工業株式会社	釧路市白樺台2丁目27番6	0154-92-0550	○	
	株式会社クラシアン	札幌市東区東雁来6条2丁目7-10	0120-511-511	○	
	構設備工業株式会社	釧路市貝塚2丁目6番25号	0154-43-1289	○	○
	株式会社鈴木設備工務店	釧路市芦野4丁目1番3号	0154-36-4281	○	
	総合設備株式会社	釧路市入江町7番27号	0154-25-3116	○	○
	第一水道工業株式会社	釧路市入江町8番5号	0154-23-3414	○	○
	大同工業株式会社	釧路市鳥取大通3丁目21番27号	0154-52-2291	○	○
	株式会社トラストワークス	釧路市桜ヶ岡7丁目11番16号	0154-92-3600	○	○
	株式会社中山工業	釧路市昭和中央1丁目18番2号	0154-53-3506	○	○
	農基開発株式会社	浜中町茶内橋北西84番地	0153-65-2525	○	
	株式会社丸八富士総合設備	釧路市鳥取北10丁目11番10号	0154-52-2511	○	○

(令和6年4月1日改正、五十音順)



いざというときに備えて飲料水を備蓄しましょう



地震などの災害時、蛇口から水が出なくなった場合、応急給水車などにより水をお配りします。しかし、道路が寸断して応急給水車の到着が遅れることや、悪天候などによって、必要な水をすぐにお届けできるとはかぎりません。

また、応急給水の行列に並び、ポリタンク等に入れた重い水を自宅まで持って帰ることは大変な労力です。

人が生命を維持するために必要な飲料水の量は、1人1日あたり3リットルといわれています。いざというときに備えて、3日分を目安として、日ごろからご家族の人数分の飲料水を備蓄しましょう。